

平成26年度 新規事業候補箇所説明資料

一般国道497号(西九州自動車道)
松浦佐々道路

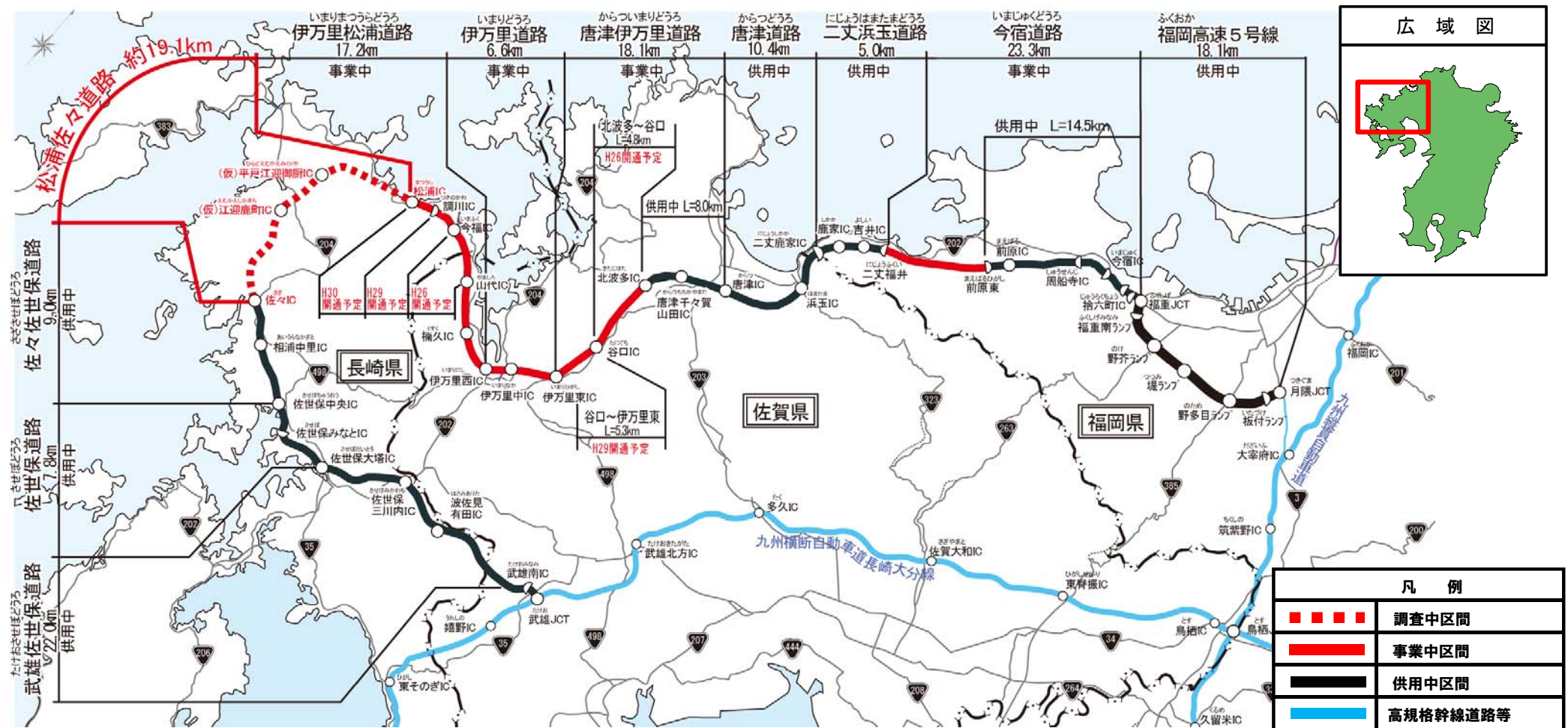
1. 長崎県北部地域の状況
2. 一般国道497号(西九州自動車道)
松浦佐々道路の概要
3. 一般国道497号(西九州自動車道)
松浦佐々道路の課題と整備効果
4. 費用便益分析結果
5. とりまとめ

1. 長崎県北部地域の状況

長崎県北部地域の状況

1. 西九州自動車道の概要

- 西九州自動車道は福岡県福岡市を起点とし、佐賀県唐津市・伊万里市、長崎県松浦市・佐世保市を經由して佐賀県武雄市で九州横断自動車道長崎大分線に接続する延長約150kmの自動車専用道路である。
- そのうち、現在95kmは供用済みであり、松浦～佐々間約19kmは西九州自動車道唯一の未事業化区間となっている。



長崎県北部地域の状況

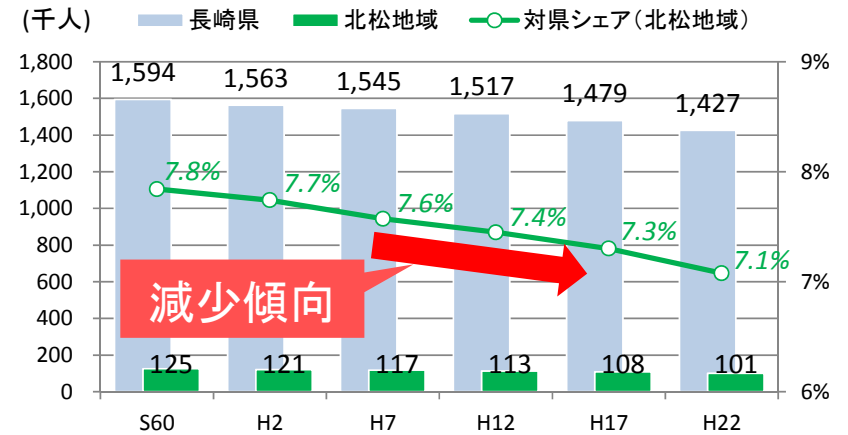
2. 地域・人口

- 北松地域は長崎県の北部に位置し、地理的制約から多くの課題を抱えるため半島振興地域に指定されている。
- 長崎県の人口の約7%にあたる約10万人が居住しており、人口の推移については減少傾向である。
- 高齢化率は約29%と超高齢社会であり、特に平戸市は増加傾向が著しい。

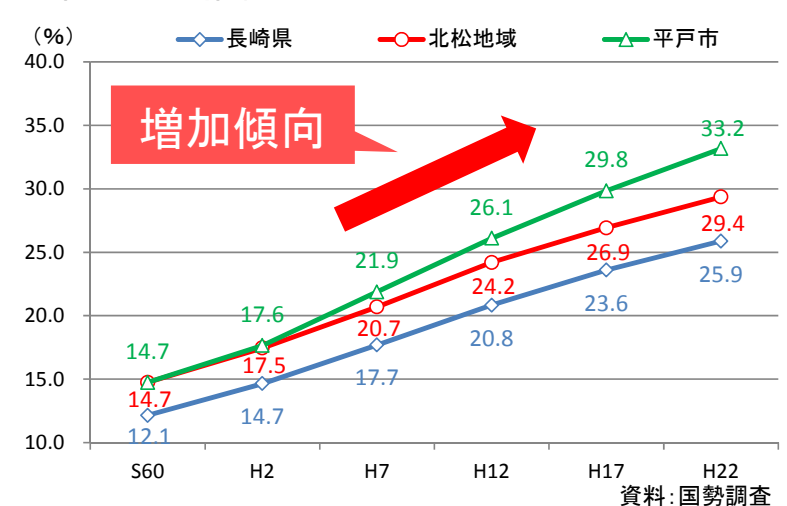
■北松地域



■人口の推移



■高齢化の推移

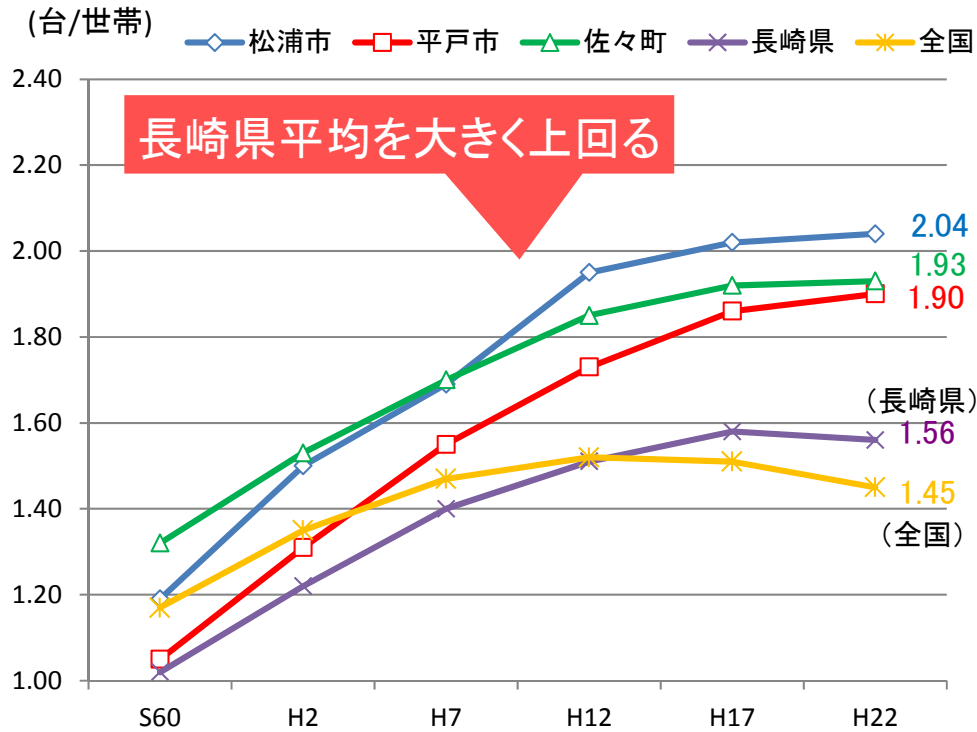


長崎県北部地域の状況

3. 生活

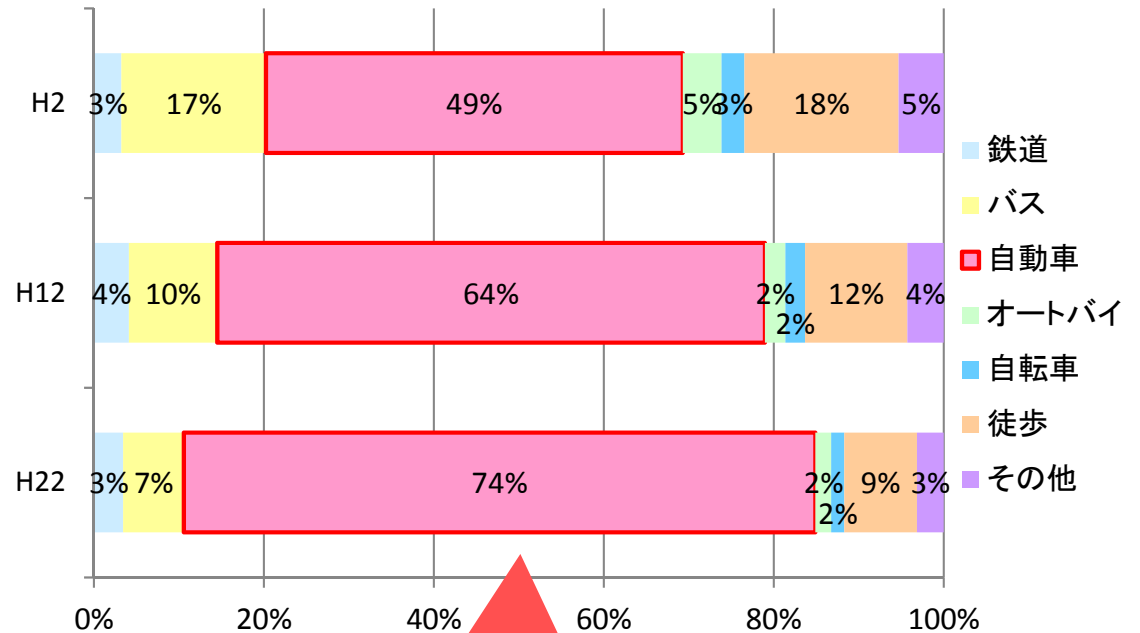
- 松浦市、平戸市、佐々町の世帯あたり自動車保有台数は年々増加しており、全国平均及び長崎県平均を大きく上回っている。
- 通勤通学時における移動交通手段の約7割が自動車に依存し、その依存度は増加傾向である。

■世帯あたりの自動車保有台数の推移



資料：国勢調査、長崎県統計年鑑、自動車保有台数統計データ

■通勤通学時の利用交通手段の推移



資料：国勢調査
※平戸市、松浦市、佐々町を集計

長崎県北部地域の状況

4. 地域の特徴

- マアジ水揚げ量全国1位である松浦を始め、県北地域はマアジ漁が盛んであり、長崎県は東京卸売市場で全国2位のシェアを占めている。
- 平戸ヒラメや、旬あじ、平戸和牛などブランド化された魅力的な食材が豊富に存在。
- また、世界遺産暫定リスト登録の「長崎の教会群」などの観光資源も豊富に立地。

平戸和牛



平戸ひらめおがみ

※ブランド化されたヒラメ
(1キロを超えるもの)

長崎ふく



※養殖トラフグ
(漁獲量全国1位の佐世保、2位の松浦)

宝亀教会

平戸島の聖地と集落

田平天主堂

旬(とき)アジ

※ブランド化されたマアジ
(4~8月に揚がる100g以上のもの)

旬(とき)さば

※ブランド化されたサバ
(400gを超えるもの)

宝亀教会

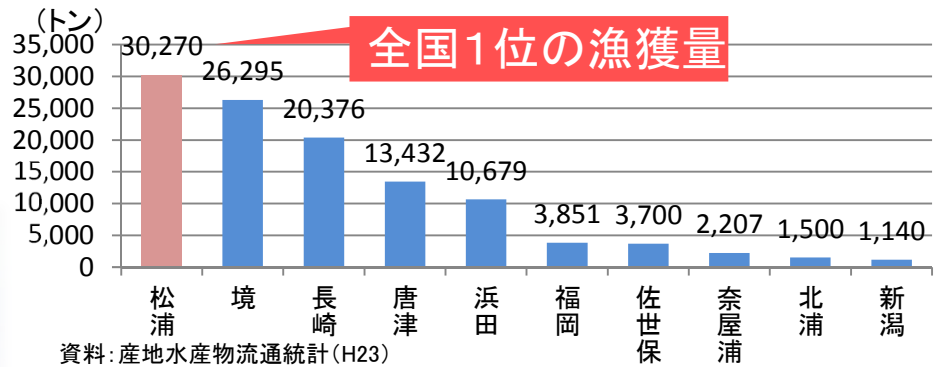
黒島天主堂

平戸島の聖地と集落(安満岳の参道)

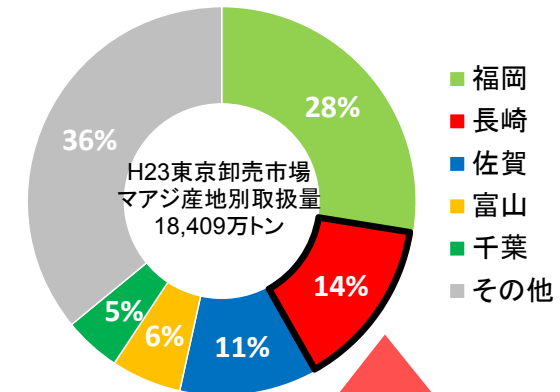
※禁教時代に教会堂の代わりに
聖地として崇拝された場所

田平天主堂

■漁港別マアジ水揚げ量



■東京卸売市場マアジ産地別取扱量



◆長崎の教会群とキリスト教関連遺産
長崎県をはじめ長崎県内の関係する7市町が主体となり、世界文化遺産登録を目指している。現在は、ユネスコの世界遺産暫定一覧表に登録

東京卸売市場で全国2位のシェアを占める

2. 一般国道497号(西九州自動車道) 松浦佐々道路の概要

一般国道497号(西九州自動車道)松浦佐々道路の概要

【計画概要】

- ・区間: 長崎県松浦市志佐町浦免^{し さ うらめん}～長崎県北松浦郡佐々町沖田免^{さ ざ おきためん}
- ・延長: 19.1km
- ・車線数: 2車線
- ・計画交通量: 約11,600台/日
- ・全体事業費: 約800億円 [自動車専用道路]

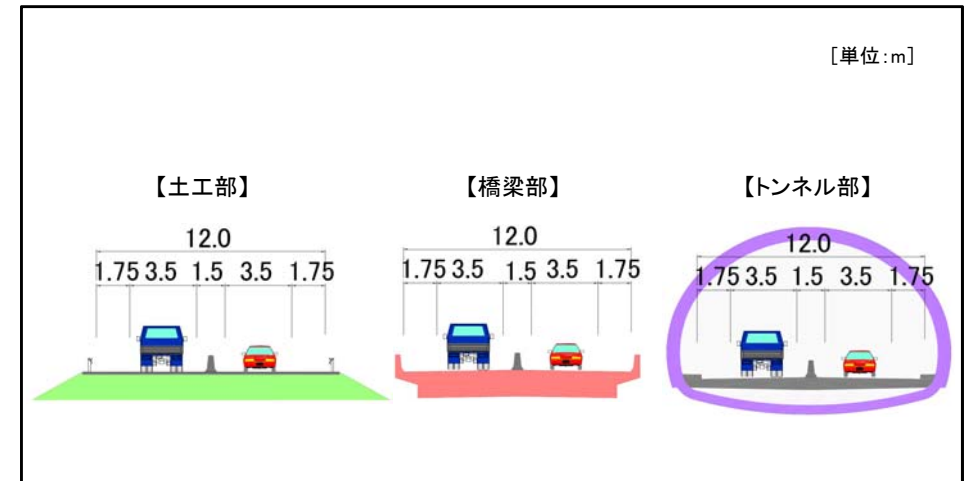
【事業の経緯等】

- ・H25.7 : 都市計画決定告示
- ・H25.7 : 環境影響評価書公告縦覧

平面図



標準断面図

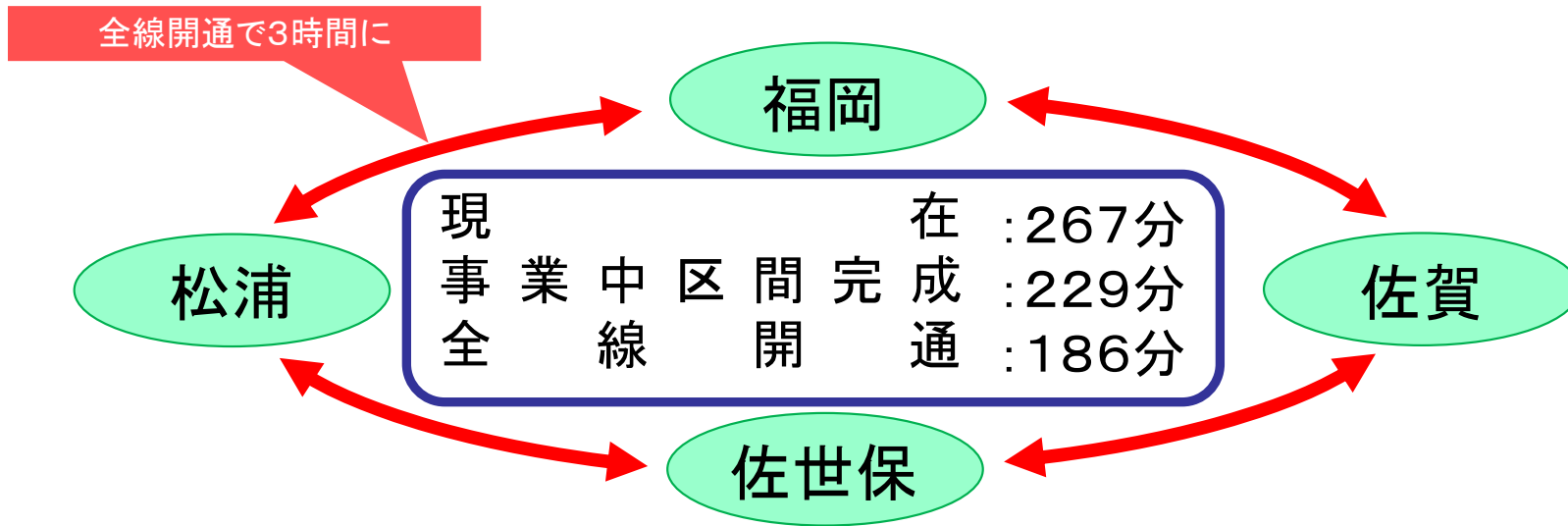


3. 一般国道497号(西九州自動車道) 松浦佐々道路の課題と整備効果

一般国道497号(西九州自動車道)松浦佐々道路の課題と整備効果

1. 西九州自動車道の広域的な位置付け

- 西九州自動車道の全線整備により、横断道と一体となって循環型ネットワークが形成。
- また、九州横断道とのダブルネットワークにより、事故等の通行止めの際には代替路として機能。



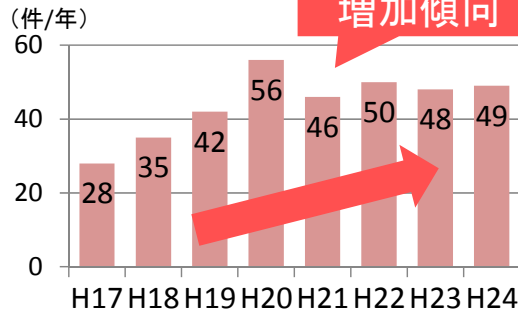
九州横断道での事故等の際には代替路として機能

一般国道497号(西九州自動車道)松浦佐々道路の課題と整備効果

2. 救急医療アクセスの改善

- 平戸市から第3次救急医療施設への搬送件数は増加傾向。
- また、平戸市の周産期死亡率は全国の約2倍と高く、佐世保市の病院へ向かう途中に車内で出産した事例もある。
- 平戸市の第3次救急医療施設の60分到達圏内人口は約5割で、松浦佐々道路の整備により、旧生月町等が追加となり60分到達圏内人口が2割増加(1.8→2.5万人/3.3万人)。

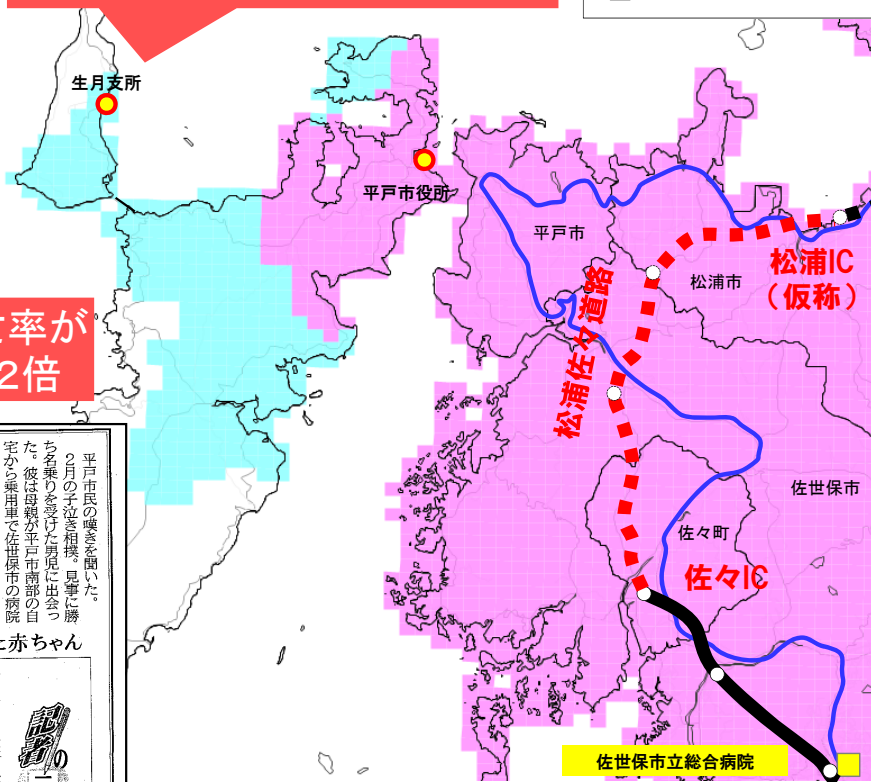
■平戸市から第3次救急医療施設への搬送件数



搬送件数は増加傾向

■第3次救急医療施設60分到達圏

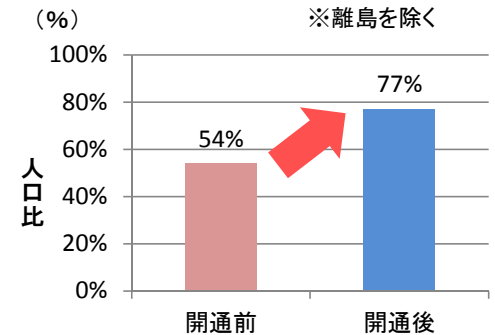
生月地区は第3次救急医療施設60分到達圏内へ



凡例

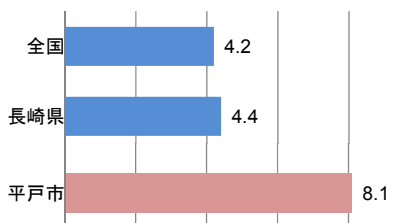
- ：開通前60分圏域
- ：開通後60分圏域
- ：第3次救急医療施設

■平戸市第3次救急医療施設60分到達圏内人口比※



60分以内に到達できる平戸市の人口が2割増加

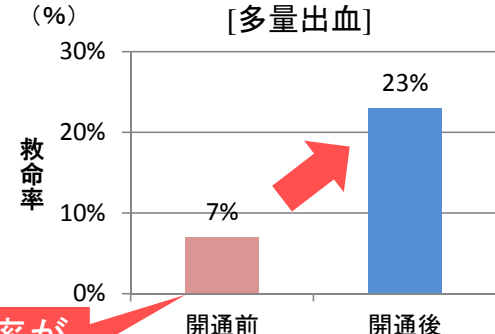
■周産期死亡率の状況



周産期死亡率が全国の約2倍

平戸市民の嘆きを聞いた。2月の予定分娩、母等には勝ち多乗り急いだ男児に出会った。彼は母が平戸市南部の自宅から乗用車で佐世保市の病院に向かう途中、車内で生まれていた。母が陣痛を感じて病室に連絡すると「1時間近く来た。ささいと言われた。無難です。自身から早く時間かかる。予定日の10日以上前だ。」「さうではないと母は願う。」「さうではない。」「安心して安全に産みたい」と母は少し化す。H22.3.16長崎新聞

■搬送時間短縮による救命率の向上



平戸市の救命率が7%→23%に向上

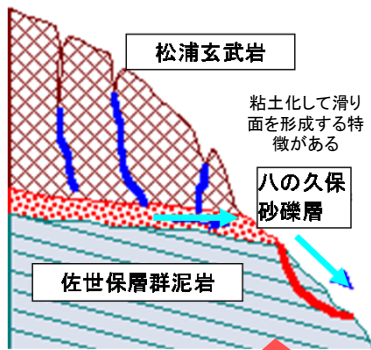
※平戸市の多量出血患者の救命率をカラーの救命曲線より算出

一般国道497号(西九州自動車道)松浦佐々道路の課題と整備効果

3. 地域の災害リスク

- 当地域は「北松型地すべり地帯」と称され、土砂・落石災害等が起こりやすい地域。
- 大規模地震に伴う津波により被害が想定される区域。
- 松浦市の全域、佐世保市・平戸市の一部は、玄海原発避難対象区域に指定されている。

■北松型地すべりとは



玄武岩に水が浸透し、地すべりを起こしやすくなっている

凡 例	
■■■■ 対象区間	★ 土砂・落石災害箇所
■■■■ 高速道路	■■■■ 原子力災害時避難経路
—— 一般国道	⊗ 防災点検要対策箇所
—— 主要地方道	■ 津波浸水箇所
—— 一般都道府県道	■ 地すべり防止区域(国土交通省所管)
—— その他の道路	■ 地すべり防止区域(農林水産省所管)



写真① 法面崩壊状況 (江迎地区)H3.6.9

平成18年9月の台風で国道204号が冠水し、救助活動に支障を生じました。浸水は、床上34棟、床下55棟が発生しました。(佐世保市江迎行政センター)

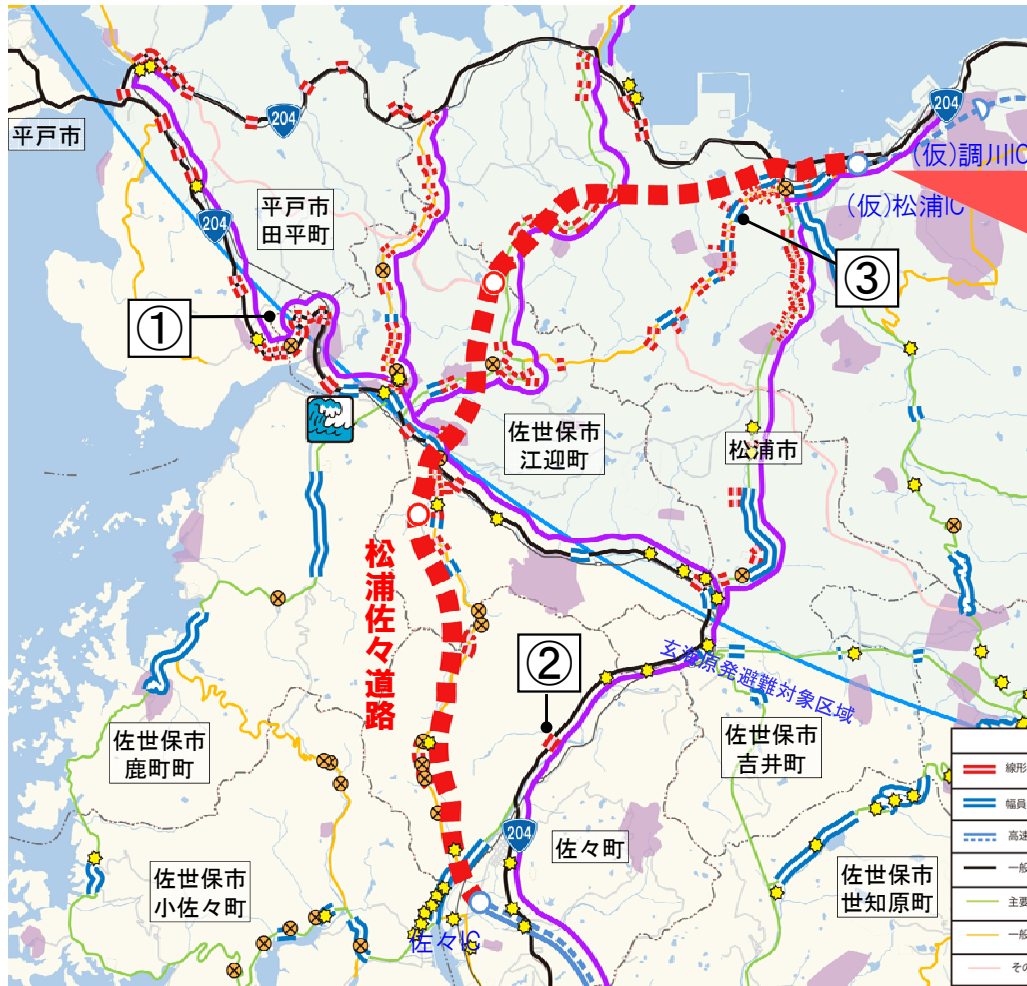
浸水や崖崩れ等からの安全さ	70.4
交通事故からの安全さ	68.7
医者にかかるときの便利さ	68.3
火災や地震の時の安全さ	67.4
緑や自然の豊かさ	66.9

▲ 生活環境の重要度の上位5位
資料:H20住民意識調査 (旧江迎町・旧鹿町町)

災害発生リスクの高い地域であるため、住民は防災面に不安を抱いている

4. 緊急時の避難・救助活動

- 周辺の道路は原発災害時の避難経路にも指定されているが、線形不良・土砂災害等の課題がある。
- 現道の課題箇所を回避し、緊急時の迅速な避難・救助活動において機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成される。
- また、循環型ネットワークが形成され、複数の広域的ルートからの救助活動が可能となる。



線形不良箇所
132箇所、
幅員狭小区間
10区間
土砂・落石災害
21回/10年



写真① 線形不良箇所(国道204号)



写真② 線形不良箇所(国道204号)



写真③ 線形不良箇所(県道松浦江迎線)

凡 例	
	線形不良箇所 R<100m
	幅員狭小区間 W<5.5m
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般都道府県道
	その他の道路
	土砂・落石災害箇所
	原子力災害時避難経路
	防災点検要対策箇所
	津波浸水箇所
	地すべり防止区域
	対象区間

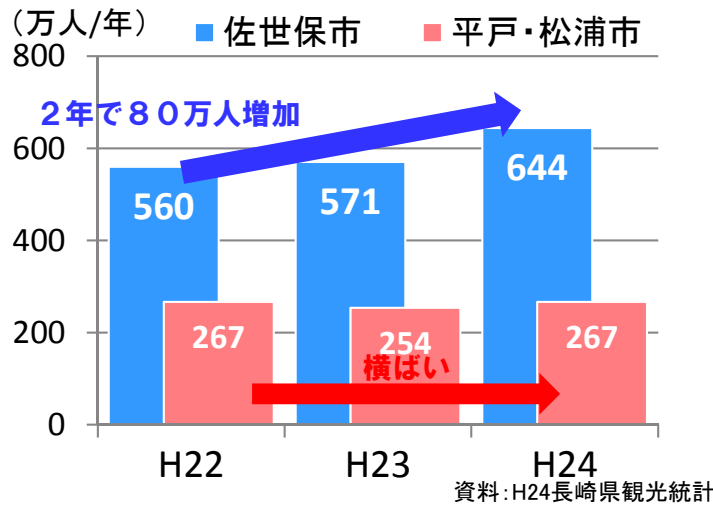


一般国道497号(西九州自動車道)松浦佐々道路の課題と整備効果

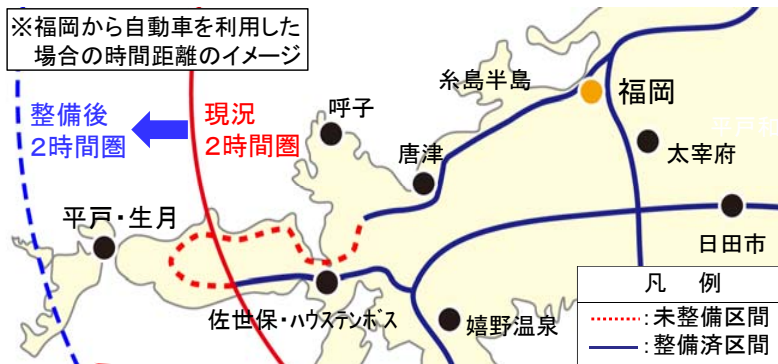
5. 地域振興 (新たな広域ルート形成)

- 北松地域は、豊富な漁獲量のマアジ、ブランド化された平戸ヒラメ・平戸和牛、歴史的な教会群等魅力的な地域資源が多く存在するが、地理的制約よりポテンシャルを十分活かしきれていない。
- 佐世保市(ハウステンボス等)は観光客数が大幅に増加しているが、平戸・松浦市では横ばい傾向であり、松浦佐々道路の整備により、佐世保～平戸～松浦を周遊する広域ルートが形成。
- また、平戸市から福岡市まで2時間圏内となり、観光面及び物流面で大きな効果が期待される。

■佐世保市、平戸・松浦市の観光客推移



■福岡市からの2時間圏



平戸・生月が概ね2時間圏内へ



凡例

●: 観光施設

4. 費用便益分析結果

費用便益分析結果

便 益				※現在価値化後		B/C
走行時間短縮便益		約656億円		合 計 約782億円	1.3 = $\frac{782\text{億円}}{621\text{億円}}$	
走行経費減少便益		約69億円				
交通事故減少便益		約58億円				
事 業 費				※上段:単純合計(税込) 下段:現在価値化後		
事業費	改良費	約133億円		合 計 約930億円 (約621億円)		
	橋梁・トンネル・IC費	約481億円				
	その他工事費	約148億円				
	用地補償費	約36億円				
維持管理費	約130億円 (約36億円)					

[]書き上段:現在価値化後の便益
下段:現在価値化後のコスト

5. とりまとめ

一般国道497号(西九州自動車道)松浦佐々道路に係る新規事業採択時評価

- 救急医療アクセスが困難な地域の改善（第3次救急医療施設まで60分以内で到達できる平戸市の人口が2割増加）
- 現道の課題箇所を回避し、緊急時の避難等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成（国道204号や主要地方道佐世保吉井松浦線等は線形不良箇所が多く存在するなどの課題を抱える。また、原発災害時の避難経路にも指定されている。）
- 佐世保～平戸～松浦を周遊する観光ルート強化、福岡市2時間圏（日帰り圏）の平戸市までの拡大により地域活性化を支援。

1. 事業概要

- 起終点：長崎県松浦市志佐町浦免～長崎県北松浦郡佐々町沖田免
- 延長等：19.1km（第1種第3級、2車線、設計速度 80km/h）
- 全体事業費：約800億円
- 計画交通量：約11,600台/日

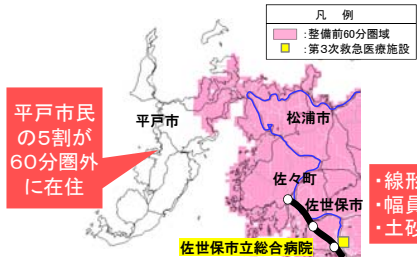
乗用車	小型貨物	普通貨物
約9,100台/日	約1,600台/日	約900台/日



2. 道路交通上の課題

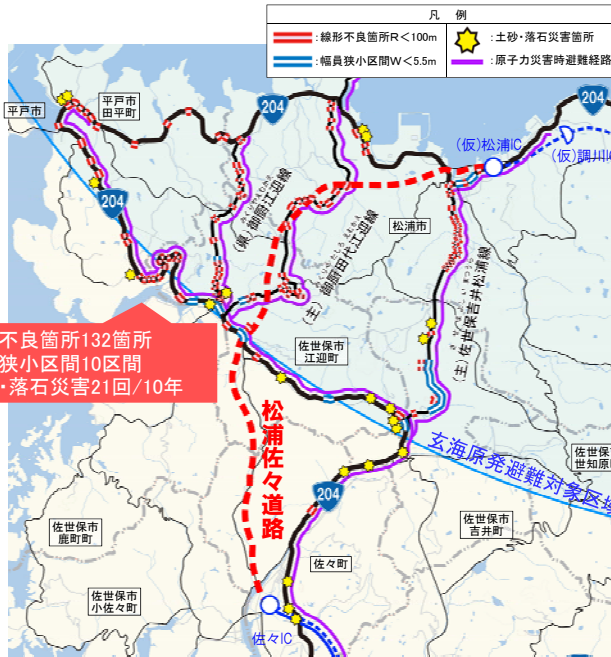
① 住民生活

- 平戸市の全人口（離島除く）のうち約5割が第3次医療施設60分到達圏外に在住（3.3万人中1.5万人）
- ※60分圏人口比（離島除く）54%



② 防災・災害時の救助活動等

- 周辺の道路は線形不良箇所等の課題を抱える箇所が多数存在しており、一部は原発の避難経路に指定されているが、緊急時の避難・救助活動における信頼性は低い【図3】



③ 地域経済・地域社会等

- 平戸・松浦の過去2年の年間観光客数は横ばいで推移
- 隣接する佐世保（ハウステンボス等）の観光客数は大幅に増加しているが、佐世保～平戸～松浦間をつなぐ現道は線形不良等により走行性が悪く、周遊する観光ルートが形成されていないため、平戸・松浦では観光需要を取り込めていない【図4】
- 長崎県総合計画（規格の高い道路の成果目標）において福岡市2時間圏（日帰り圏）の平戸市までの拡大を目標として設定

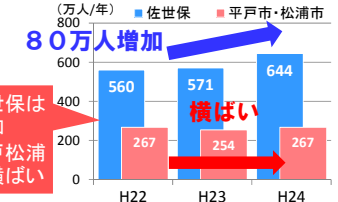
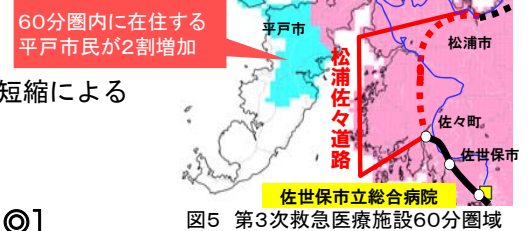


図4 長崎北部地域の観光客数の推移
出典：長崎県観光統計

3. 整備効果

効果1 住民生活 【◎】

- 第3次救急医療施設までの救急搬送時間短縮による救命率の向上が期待される【図5】
- ※平戸市の60分圏内人口比（離島除く）
現況54%→整備後77%（2割増加）

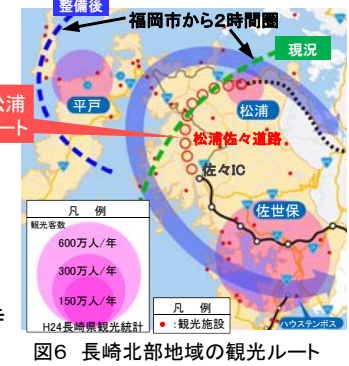


効果2 防災・災害時の救助活動等 【◎】

- 現道の線形不良箇所や災害箇所等を回避し、緊急時の避難等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成される

効果3 地域経済・地域社会等 【◎】

- 佐世保～平戸～松浦を周遊する観光ルートが強化され、観光振興による地域活性化が期待される。【図6】
- ※平戸市～佐世保市間所要時間
現況56分→整備後40分（16分短縮）
- 平戸市が福岡市から2時間圏（日帰り圏）となることにより新たな集客が見込まれ、観光振興による地域活性化が期待される。【図6】



■大規模地震に対するネットワークとしての防災評価

①主要都市・拠点間の防災機能評価※ 〔平戸市～佐世保市の評価〕【図7】	
現況D → 整備後B	◎
②市町村間等の連結性評価	
改善度：1.7	◎
〔弱点度〕整備前：1.5 整備後：0.9	



■費用便益分析結果

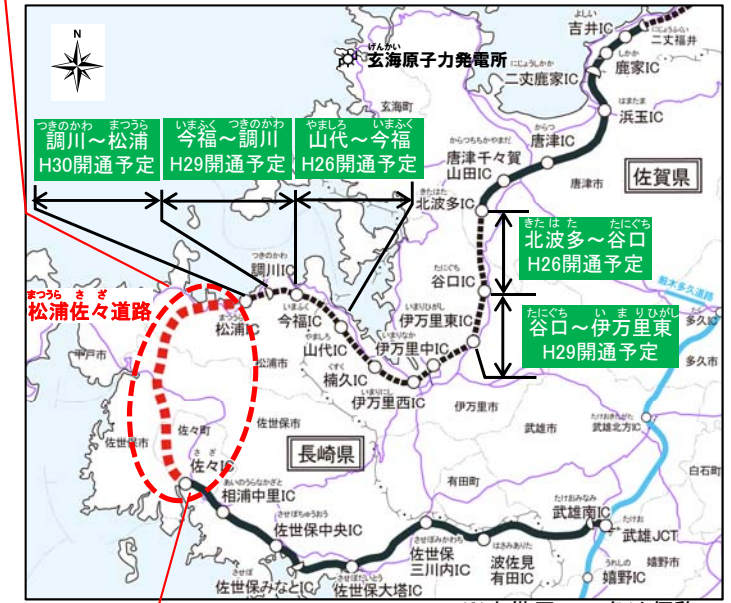
（貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの）

B/C	EIRR※1	総費用：62.1億円※2	総便益：78.2億円※2
1.3	5.3%	・事業費：58.5億円 ・維持管理費：3.6億円	・走行時間短縮便益：6.56億円 ・走行経費減少便益：6.9億円 ・交通事故減少便益：5.8億円

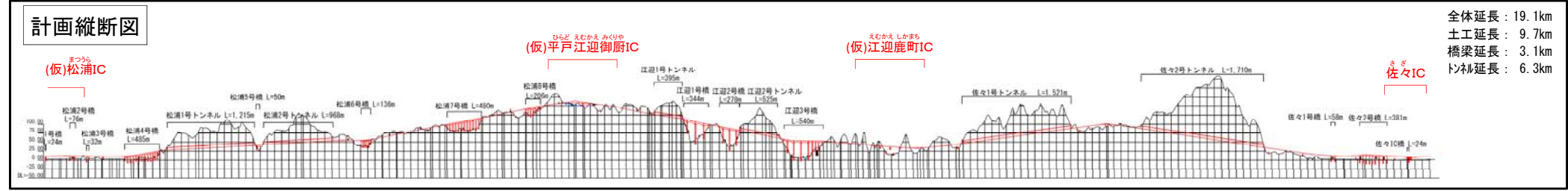
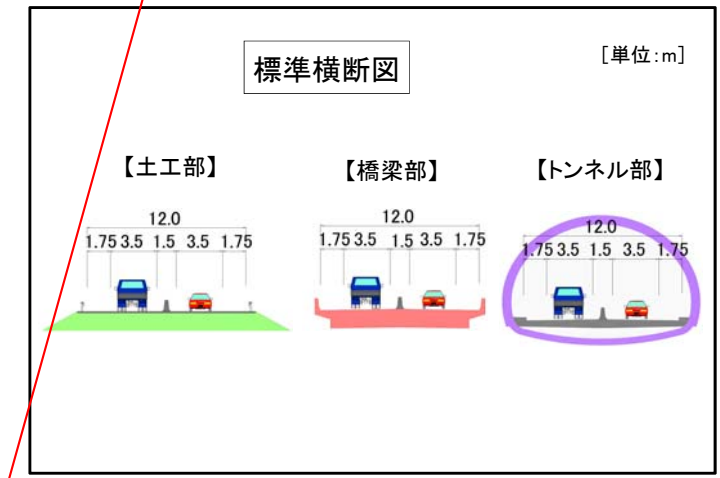
※1：EIRR：経済的内部収益率
※2：基準年（H25年）における現在価値を記載（現在価値算出のための社会的割引率：4%）

※平戸市～佐世保市間の整備の有無について評価

まつらさぎ 一般国道497号(西九州自動車道)松浦佐々道路に係る新規事業採択時評価



※未供用のIC名は仮称



西九州自動車道（松浦～佐々）における計画段階評価

1. 長崎県北松地域の課題

①高度医療施設へのアクセス

○平戸市の全人口（離島除く）のうち約5割が第3次医療施設60分到達圏外に在住（3.3万人中1.5万人）（図1）
 ※60分圏人口比（離島除く）54%

平戸市民の5割が60分圏外に在住

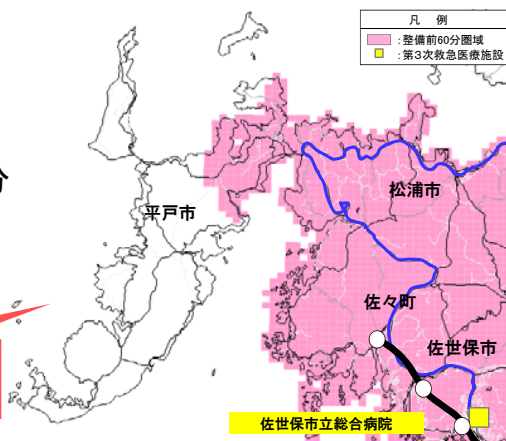


図1 第3次救急医療施設60分圏域

②緊急時の避難、救助活動等

○周辺の道路は線形不良箇所等の課題を抱える箇所が多数存在しており、一部は原発の避難経路に指定されているが、緊急時の避難・救助活動における信頼性は低い（図2）



図2 北松地域の災害発生状況及び道路状況

③観光客数の伸び悩み

○隣接する佐世保（ハウステンボス等）の年間観光客数は過去2年で80万人増加しているが、平戸・松浦市は横ばいの状況である（図3）

佐世保市は大幅に増加
平戸・松浦市は横ばい

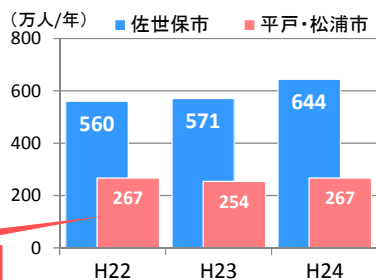


図3 長崎北部地域の観光客数の推移
 出典：長崎県観光統計

2. 原因分析

①高速道路ネットワークが未整備

○高度医療施設への救急搬送道路及び、緊急時の避難、救助活動に利用する高速道路ネットワークが未整備である



写真1 平面線形不良箇所（国道204号）

②現道の課題

○周辺の道路は、線形不良箇所(R<100m)132箇所、幅員狭小区間(W<5.5m)10区間を始めとして、その他の道路も含め、構造上の問題箇所が多数存在している。
 （図2・写真1）



写真2 法面崩壊状況（江迎地区）H3.6.9

○「北松地すべり地帯」と称される地域であり、通行規制を伴う土砂・落石災害が過去10年間に21回発生（写真2）

③観光地間の周遊が未形成

○佐世保～平戸～松浦間をつなぐ現道は線形不良等により走行性が悪く、周遊する観光ルートが脆弱（図4）

○平戸市は福岡市から2時間圏外に位置している（図4）

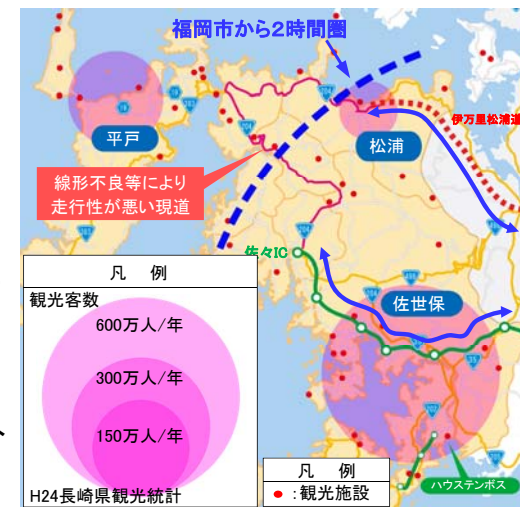


図4 長崎県北部地域の観光地とルート状況
 ※日帰り行動圏2時間（長崎県「長崎県の道づくり基本方針」H23.12）

3. 政策目標

- ①高度医療施設への速達性の向上
- ②緊急時においても機能する高速ネットワークの形成
- ③観光地間の速達性・走行性の向上、福岡市からの旅行時間短縮

西九州自動車道（松浦～佐々）における計画段階評価

4. 対策案の検討

評価軸	【案①】全線BP（アクセス重視）案	【案②】全線BP（最短ルート）案	【案③】現道改良案
①高度医療へのアクセス	○ 第3次医療施設への60分圏内区域が案2より拡大	△ 第3次医療施設への60分圏内区域が拡大	× ほとんど向上しない
②緊急時においても機能する高速ネットワークの確保	○ 現道の線形不良箇所等を解消 線形不良箇所 4箇所 → 0箇所 幅員狭小区間 7箇所 → 0箇所	○ 現道の線形不良箇所等を解消 線形不良箇所 4箇所 → 0箇所 幅員狭小区間 7箇所 → 0箇所	△ 解消しない 線形不良箇所 4箇所 → 2箇所 幅員狭小区間 7箇所 → 0箇所
	△ 時間短縮が大きい	○ 最短ルートのため、 時間短縮が【案1】より大きい	× 時間短縮が小さい
③観光地間の速達性・走行性の向上	○ 【案2】より向上	△ 速達性向上	× ほとんど向上しない
コスト	△ 概ね800億円	× 概ね880億円	○ 概ね600億円
総合評価	○	△	×

標準断面図

【単位:m】

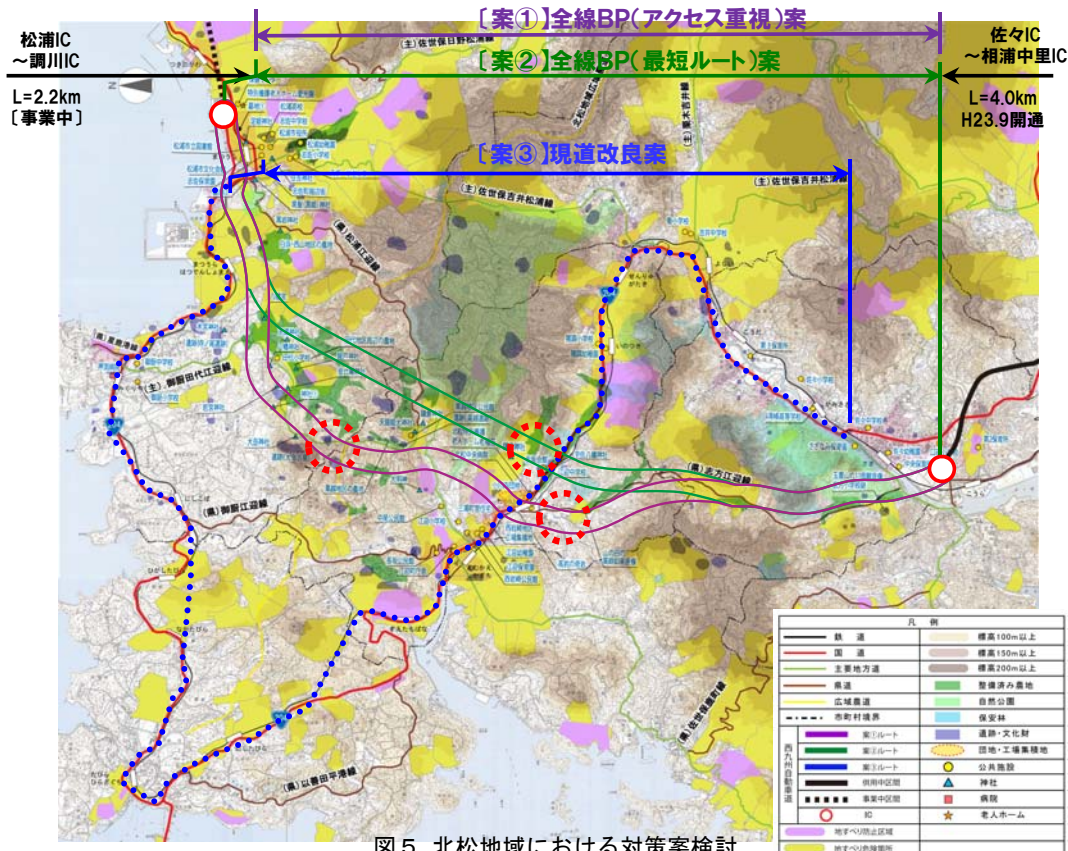
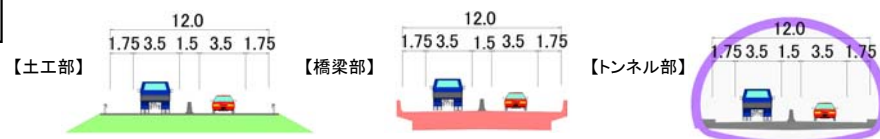


図5 北松地域における対策案検討

対応方針（案）：案①による対策が妥当

【計画概要】

- ・一般国道路線名：一般国道497号
- ・区間：長崎県松浦市志佐町浦免～長崎県北松浦郡佐々町沖田免
- ・概略延長：L=19.1km ・標準車線数：2車線
- ・設計速度：80km/h ・概ねのルート：図5（案①）のとおり

（参考）当該事業の経緯等

地元調整の状況等

- ・H19.1：市民参加型道路計画（構想段階PI）実施
- ・H19.2：整備の必要性、ルート検討範囲（約1～2km）からの絞り込み、インターチェンジについて地元意見交換会
- ・H19.2～3：地域住民アンケート
- ・H19.3：地域の代表者懇談会、事業者アンケート
- ・H19.5：アンケート等の結果について地元意見交換会
- ・H19.12：「道路計画の基本的な考え方」のとりまとめ（構想PI完了）
- ・H25.7：都市計画決定告示

地域の要望等

- ・H25.2：長崎県議会議員、平戸市議会議長等が国土交通副大臣に早期事業化の要望
- ・H25.6：長崎県知事、県議会議長等が国土交通大臣にH26年度新規事業化の要望
- ・H25.7：長崎県副知事が国土交通大臣にH26年度新規事業化の要望
- ・H25.10：高規格幹線道路「西九州自動車道」建設促進総決起大会開催
- ・H25.10：長崎県知事が国土交通大臣にH26年度新規事業化の要望
- ・H25.12：長崎県知事が国土交通副大臣にH26年度新規事業化の要望
- ・H26.2：長崎県知事が国土交通大臣にH26年度新規事業化の要望